

春夏秋冬

所長 下山 貢

今年の冬は暖冬の影響で雪が少なく、木曾のスキー場も雪不足で、スキー場関係者の皆さんのご苦労を考えると少し複雑な思いです。

木曾寮では、積雪があるのと除雪に追われます。職員の出勤時には職員駐車場の確保、次に玄関前と公用車駐車場、施設の周囲の避難路の確保があり、元気な利用者さんの手も借りて除雪を行っています。今のところ大変な除雪の機会も少なく、このまま暖かくなりそうではと思っています。

この時期、一番心配されるのがインフルエンザや胃腸炎などの感染症です。数年前にこれらの感染症で大変な思いを経験していますので予防にも力が入ります。インフルエンザは、小児

と高齢者で重症化しやすいとされ、流行の規模は一定ではなく、毎年冬季に流行がみられ、学校関係では学級閉鎖の原因や、高齢者施設における施設内流行の原因にもなります。

木曾寮では、流行期に入る前に職員と利用者ほぼ全員が予防接種を受けることになっていきます。こまめな手洗いと消毒、うがいの励行と窓を開けての換気、勤務中の職員にはマスクの着用を呼びかけています。

同様に胃腸炎も非常に感染力が強いため、注意をしなければいけません。

手指や食品などを介して経口で感染するため、特に気を使うのは、利用者様が個人的に購入したり、面会の方にいただいたりした食品の管理です。

沢山購入したり、いただきますすぎて食べきれず、押し入れや戸棚に入れたまま忘れてしまい、暖房のきいた

部屋で数日経過すれば、果物や饅頭などは傷んだりカビてしまいます。職員の目の届かない所で、他の利用者様にお裾分けとして配ってしまふこともあるため、居室掃除の折に注意深く観察しています。

施設としては、感染症の集団感染を最も恐れ、警戒しています。

皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、面会の際には、玄関での手指消毒とマスクの着用、食べ物の持ち込みはできるだけ遠慮いただきますようご協力をお願い致します。

